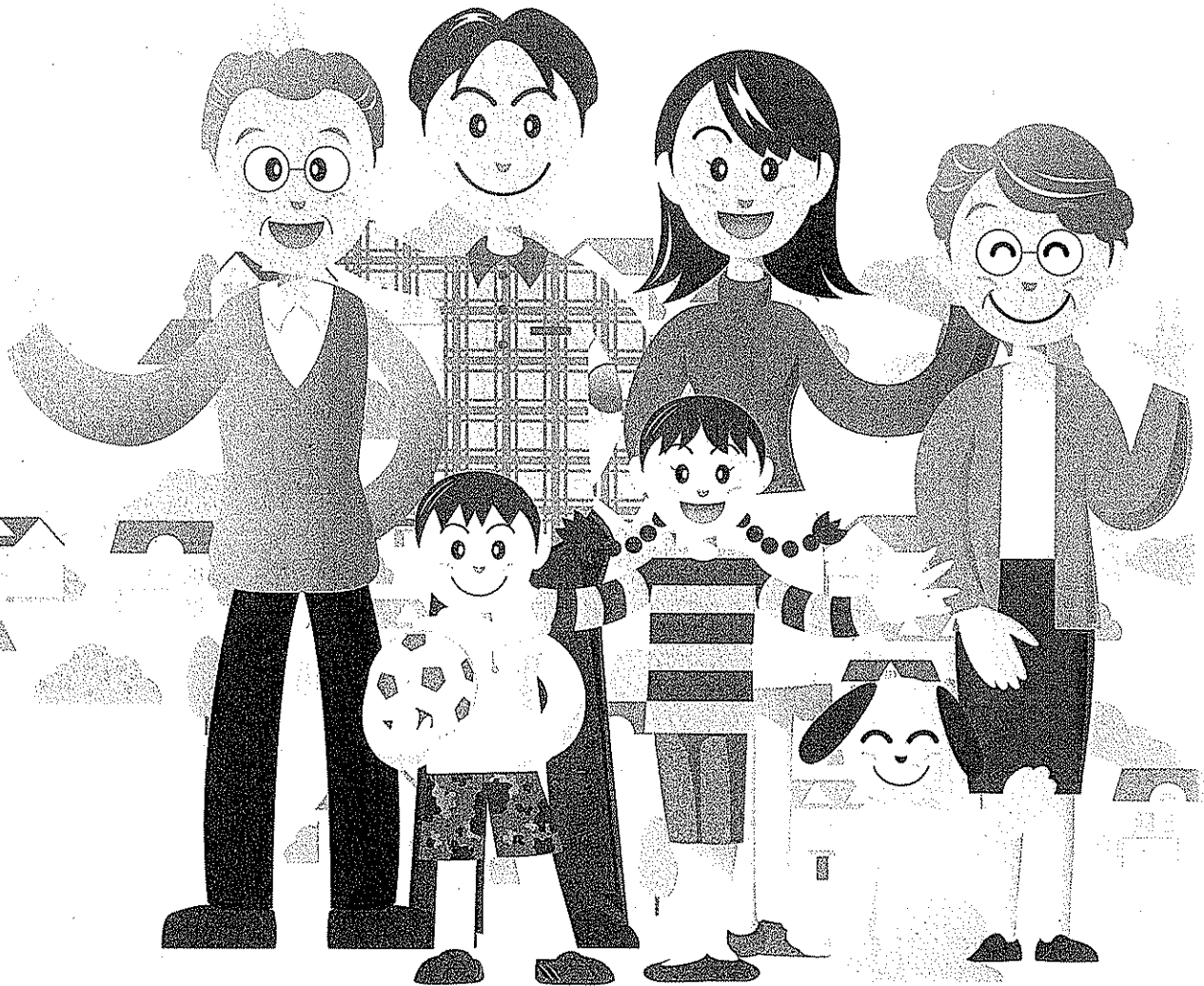


家庭教育の手引き

# みんなではぐくむ 二月っ子

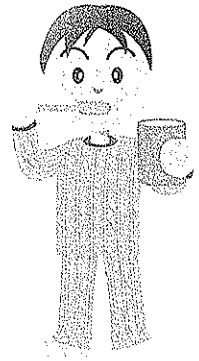
保存版



二戸市教育振興運動推進協議会

# はじめに

学力を伸ばすためには、授業への取り組みはもちろんのこと、家庭での過ごし方が大切です。家庭での過ごし方のポイントは、以下の通りです。



## 1.「早寝・早起き・朝ごはん」で生活リズムを整えましょう

脳の働きを高め、気持ちのよい1日を過ごすためには、早寝・早起きの習慣をつけて、バランスのとれた朝食をとることが重要です。

## 2.家庭学習の習慣をつけましょう

家庭では、まず日々の宿題をきちんとすませることから始めましょう。そのうえで、予習や復習に取り組んだり、苦手なところを繰り返し学習することや、興味のあることを進んで調べるといった学習にも広げていきたいものです。

そこで、家庭での学習習慣をつけるために、次の3つのことが考えられます。

### (1)勉強しやすい環境をつくる

子どもが勉強しようとする部屋のテレビや音楽を消して、静かな環境をつくりましょう。また、子どもとテレビやゲームについての約束をつくり、きちんと守るように声がけすることも大切です。

### (2)学校での様子に関心をもつ

子どもが今、学校でがんばっていることや授業で学習していることなどに関心を持ちましょう。学校からのお便りや連絡帳を通して、学校の取り組みも見えてくると思います。

### (3)勉強している様子を見守る

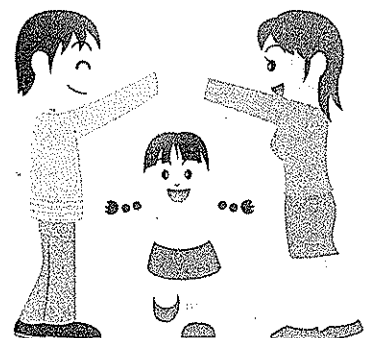
子どもが計画を立てて、自分で学習を進めることができるように見守りましょう。

## 3.家族とのかかわりを大切にしましょう

家庭で、親子で本を読んだり、地域の活動と一緒に参加することで、子どもの成長に気づくこともあります。

学校では、キャリア教育を計画的に進めています。主な内容は、身の回りの仕事や働くことの意義、自分の将来の生き方などについての学習です。そこで家庭においても、将来何になりたいか、どんな大人になりたいか、そのためにはどのような努力が必要かなどについて、家族の団らんで語り合うことも大切です。

家族とのかかわりは、子どもたちの心の栄養になります。



学習については、平成21年度の学習内容に基づいています。

# あ と が き

この手引きでは、学力を伸ばすために、一般的な子どもの発達段階に応じて、学習・生活・読書など、家庭での学習環境づくりをどのように行ったらよいのかを提示しました。

各家庭で、子どもの現状に対して、今すぐやらなければならないことがそれぞれあると思います。この手引きは、日々の子育てを振り返るきっかけとなり、これからの成長を見通しながら、現実の状況に対処する一助となるよう作成しました。

「そうか、この時期には、こんな学習をしているのか」

「家庭で学習する時は、こんな学習方法をさせればよいのか」

「学習習慣定着のためには、こんな生活習慣が必要なのか」

「読書習慣をつけるためには、この時期にこんな環境づくりが必要なのか」

など、子どもの発達に応じて親がどうかかわり、支えたらよいのか、親の果たすべき役割を考える手引きとして、家庭でご活用くださることを願っています。

最後に皆さんへのメッセージとして、市内のある親からの手紙を裏表紙に掲載いたしました。家庭教育の真髄である「親と子のふれあい」を垣間見ることができます。親は誰でもこのような気持ちで子育てをしていることと思いますが、昼夜の忙しさに手をかけられないでいる方も多いと思います。

これを読んで己を見つめ直し、何かを感じとっていただければ幸いです。

## 教 育 相 談

子どもは様々な悩みや問題を乗り越えながら生きる力をつけていくものですが、時に精神のバランスを欠くほど思い悩み、心身の不調をきたすこともあります。「仲間に入れない」「学校に行きたくない」「勉強についていけない」など、子どもの悩みに親としてどう対処し、支えたらよいのか、家庭だけで抱え込まず、下記へご相談ください。

●すこやかダイヤル(岩手県立生涯学習推進センター) **0198-27-2134**

●ふれあい電話(二戸教育事務所) **0195-23-9210**

●二戸市教育委員会学校教育課 **0195-23-3111**(内線585)

●子育ていわてケータイサイト(岩手県立生涯学習推進センター)

<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kt-shien/>





お母さんはすぐおこります。どうしてかわかりますか？  
あなたが大人になって、お父さんやお母さんの手をはなれ、  
生活する時にこまらないように教えるためと、  
お父さんもお母さんもあなたが大好きだからです。

あなたは、悪いことをしたとき泣きますね。

お母さんも本当は心の中であなたよりも泣いているのです。

どうしてお母さんも泣くのか？…

それは、教えてきたことを分かってくれなくてかなしいということと、  
お母さんの教え方が悪かったのかなあとはんせいしたり、  
くやしかったりするから。

それでもあなたのことをきらいと思ったことは一度もありません。

お母さんのおなかの中にいる時から

ずっと大切に大切に育ててきて、

だれも代わりのいない、かけがえのないあなただからです。

それはいつまでも、どんな時も変わりません。

これからもお母さんはおこりつづけます。

それでも、あなたがこまっている時、かなしい時、なやんでる時、  
さびしい時、ずっとそばにいてかならずたすけるからね。

いつまでもあなたのお父さんとお母さんだから。

…だからあなたも安心してたくさん勉強して練習して、  
お父さんとお母さんが安心できる大人になってください。